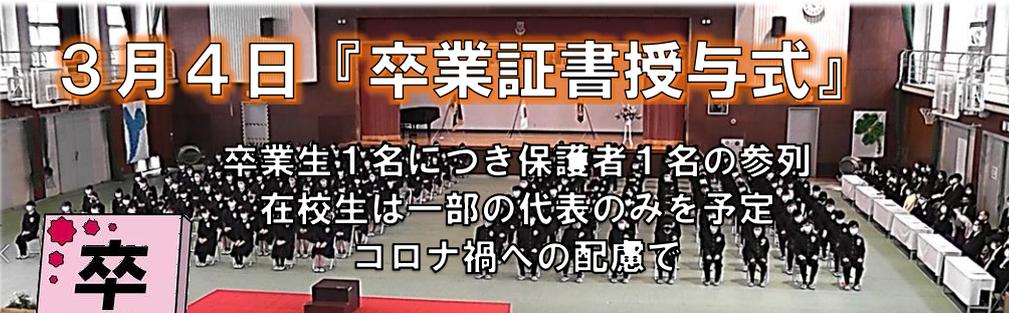




令和3年度の『卒業証書授与式』は、来る3月4日(金曜日)の午前9時30分より挙行する運びとなりました。卒業生保護者の皆さんには、本日、別途文書にてご案内を配付しました。

3月4日『卒業証書授与式』

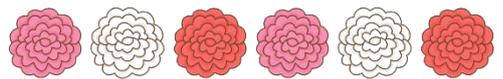
卒業生1名につき保護者1名の参列
在校生は一部の代表のみを予定
コロナ禍への配慮で



それにしても、3年連続で、卒業生の晴れ舞台が、新型コロナの影響を受けるとは、思いもよらぬ事態となりました。これで、今の1・2年生は、ほとんどの生徒が、中学校の



卒業式は見たことがない・・・ということになります。しかし、その一方で、本校の伝統的な卒業式のあり方は受け継ぐ中で、立派に卒業生を送り出そうと計画準備を進めているところです。3年生のみならず、全ての生徒が特別な思いでこの日を迎えるとともに、卒業生保護者の皆さんをはじめ、全ての保護者の方々のご理解とご協力をいただければ幸いです。
『卒業証書授与式』まで、あと **28日**



新企画の『TEACHERS@中部中 リレーインタビュー』10回目となる今回は、鈴木教史先生です。

―― まず、吹奏楽部のことですが、今年度は大活躍だったのでは？

鈴木 はい、本当に驚くばかりで、素直に生徒たちを褒めてあげたいです。

―― もちろん練習の賜物だと思うけれど、良い結果が生まれた他の要因は何なのかな？

鈴木 ソリスト(楽器を独奏する人)がいて、他の部員たちも引っ張られるようにについて。そういう雰囲気良かったと思います。

―― 来年度の吹奏楽部にも大いに期待したいですが。

鈴木 自分も期待したいです。人数が多くてなかなか大変ですし、コロナの影響で技術的な部分で追いつかないところもあって・・・

―― まさに顧問の手腕が発揮される場所ですね(笑)ところで、自身もラッパ吹いてるんですね？

このリレーインタビューは、中部中学校に在籍する先生方にリレー形式でバトンを渡しインタビューしていくものです。だれにバトンが渡されていくのかお楽しみに!(^^)!



鈴木 トランペットを中学の時からやっています。あと、現在は、ブラスアンサンブルという鈴鹿・四日市を中心に活動している金管楽器の楽団に所属していて、コンサートとかもやっています。

―― その楽器の魅力は？

鈴木 トランペットは、吹奏楽の中では目立つ存在で、やりがいがあるところですかね。でも難しいですけど・・・

―― 理科の先生というの、音楽の世界では珍しいよね。物理学が専門と聞いたけれど、音楽と物理の共通点って何かありますか？

鈴木 音というのがそもそも物理ですから。音階とか。なるほど！音楽以外の趣味や好きなことは？

鈴木 旅行することや、あと、お笑いも好きです。

―― おすすめは何かありますか？

鈴木 旅行なら、わりと日本海側が好きですかね。お笑いなら、サンドウィッチマンとか。

―― 担任をしている1年A組はどんなクラスですか？

鈴木 静まることのない元気さのあるクラスです(笑)でも、ちゃんとわかまえていて、特に、道徳の時間や学活の時間には、意見もたくさん出ておもしろいです。

―― 最後に、間もなく2年生という中堅の学年になる1年生のみんなにメッセージをください。

鈴木 一段とメリハリのある学校生活を心掛けていきましょう！

―― では、どうもありがとうございました。

【インタビュー後記】

音楽を語るときは、とても楽しそうな鈴木教史先生。吹奏楽、音楽が軸となって、今の鈴木先生があるのだということがよくわかりました。ラッパ吹き続けてください！

★次回は、鈴木裕美子先生を予定しています。



鈴木教史先生